



2010年9月

トレンドレポート: コルクを取り入れたデザイン

70年代に注目を浴びたコルク材だが、欧州では床材や壁材としてのコルク材が再び注目を集めている。この動きが住宅向け建材としての自然素材コルクに注目を集めるきっかけになるかもしれない。サステナブルでエコロジカル、そして多様な用途に対応可能な点が評価され、時代が注目するデザイナーたちは好んでコルクを用いている。最近ではくつろぎの空間にもマッチする、落ち着いたデザインのコルク材もデビューしている。新しいコルクに注目だ。



エリック・カスターがコルクを選んだ

オランダが生んだ偉大なフットボール・プレイヤーのルート・フリットの自宅デザインをはじめ、高級ホテルやレストランなどのデザインを担当したカスターはコルクが持つ可能性に魅了され、自身のデザインにこの自然素材を取り入れている。コルクを用いることで、デザイナーは天然素材と耐久性という相反する要素を両立させつつ、華麗なイメージを追求することが可能になったのだ。カスターは「コルクは私の作品にマッチします。木素材と調和するうえに、例えばサテンや金属と組み合わせると素晴らしい効果を生み出します。二つの素材を対比することによりセクシーでタフなイメージを創り上げることが可能になります」と述べている。

最先端のレストランとコルク

先週末、アムステルダムで高級レストランの"Jimmy Woo"がリニューアルオープン。このレストランはクリエイティブデザイナーでもあるオーナーのキャスパー・レインダース氏がデザインを担当し、デコレーションを大きく見なおした。彼はレストランの壁にコルクを用いたが、とても素晴らしい効果を生み出すことに成功した。スエードのソファとアンティーク家具のコンビネーションにコルクが加わることで、魅力的な雰囲気を醸し出している。





2010年9月

住宅にコルクデザインを取り込む

ここで紹介したインテリアのトレンドは一般住宅にも簡単に取り込むことができる。フローリングや壁材向けにさまざまなデザインやサイズを用意しており、ブロンズ、木素材、スエードやクロームとコルクを組み合わせることでカスターやレインダースが手がけたような、タフなインテリアデザインを実現することが可能だ。照明や植物を使うことでナチュラルな演出も容易になる。また、住宅用の抑制されたデザインにも対応できるよう、多彩なオプションが用意されている。

詳しくは www.kurkinhuis.nl www.erickuster.com をクリック。

